

日銀利上げで 住宅ローン金利上昇不可避

できるビルダーはこう切り抜ける!
インフレ必勝法



将来の給湯機別省CO₂・省コスト効果
ヒートポンプ給湯機昼沸に軍配
最大1/3のCO₂排出量差も

断熱 HEAT20、界床断熱による省エネ・快適性の影響差を確認

ルポ ダイキン工業ショールーム、真夏の除湿付き第一種換気を体感

the Resilience

ザ・レジリエンスは自治体や企業の
防災・減災や脱炭素、スマートシティに関する
最新の取り組みをまとめ発信しています。

あらゆる災害に強いまちづくりを目指す
エキスパート必見の情報誌

発行元 株式会社アスクラスト
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 1-2-6 新大阪橋本ビル 9F
TEL 06-6151-4518 FAX 06-6151-4519 <http://smarthouse-web.jp>



街へ、暮らしへ、確かな防災力



| SIソーラー |

長寿命型創蓄セット、 コスト3割減を実現

自社製N型両面ガラス太陽光パネルの展開で

地

域ビルダー・工務店向けに太陽光発電および蓄電池の卸販売・施工を手掛けるSIソーラー(依田武会長)は、このほど販売開始した自社オリジナルのN型両面ガラス太陽光パネルとテスラ製蓄電池を組み合わせた、新築向け創蓄パッケージ提案を本格化していく。とりわけ同パネルについて、これまで主力製品かつハイエンドモデルとして展開してきたマキシオンジャパン製の高効率・高耐久パネルに劣らない性能と保証内容でありながら「3割程度のコスト削減を実現し、価格競争力の高い製品として仕上げている」(依田会長)とし、改めて太陽光パネルメーカーのポジションで新築戸建住宅への創蓄普及を図っていきたい構えだ。

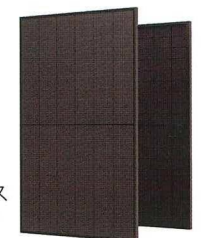
同社はイシン住宅研究所(石原宏明社長)の関連会社として2012年に設立、住宅用太陽光発電システムの



SIソーラー
依田 武 会長

設置棟数は累計1万5,000棟以上の実績を持ち、全国19か所のサービスネットワークを展開している。直近の24年2月期売上高は25億円規模で、年間約2,000棟にのぼる新築戸建住宅への販売・施工を行っており、このうちイシン住宅研究所のFC店向けが約4割、そのほか地域ビルダー・工務店向けが約6割という。太陽光発電と蓄電池のセット搭載率は約8割とし、依田会長は「太陽光パネルはマキシオン製を、蓄電池はテスラ製を供給してきたが、いずれもトップ販売事業者として各メーカーから認識されている」とする。

そんな中、今年3月に出荷開始したのが自社開発のN型両面ガラス太陽光パネル430Wである。「当社ではとくに「長寿命」にこだわっており、新築から住宅価値が続くまでの間に十分に発電できるかどうかをポイントに置いている。その点でマキシオン製は40年保証とし、それを活かした10年・15年リース提供も定評であったが、コストが合わないユーザーも少なくなかった。そこで、これまで様々なパネルを取り扱ってきたノウハウを活かし自社で研究開発を進め、マキシオン製に劣らない性能ながら材工25万円/kW台まで価格を抑えたN型パネルを完成させた」とする。1.6mm厚の強化ガラスを両面から挟んで太陽電池



N型両面ガラス
太陽光パネル

セルを密閉することで劣化の要因を軽減。無償で35年の出力保証を実現している。「現在も長期性能に関するデータを取り続けているが、11月公開予定の計測値によっては、より長寿命であることが証明され、出力保証年数が更に伸びる可能性もある」と期待を寄せる。生産はアジア3拠点の工場で行い安定供給を図っている。

一方、蓄電池についても長寿命を意識しテスラ製を積極的に扱っているとする同社。メーカー保証としては10年だが、依田会長によると「業界唯一の水冷システムを採用しており、これにより電池の長寿命化を実現している。テスラEV車でも同冷却方法が使われているが、25万kmの走行後も劣化率5%ほどという結果もあり、期待以上のものと想定している」と自信を見せる。

なお、今年9月にはリフォーム用にN型両面ガラス太陽光パネル300Wモデルの投入も予定し、全国300社の販売店を通じ新築だけでなく既築市場にも本格参入していく。今後の動向に注目したい。